

Q すんきの特許を得るメリットは？
A 同品質のすんき製造が可能



千村 孝男 議員

問 町長が6月定例議会ですんきの特許権を東京農大の岡田教授より有償で譲っていたと話を進んでいると話されましたが、これは勘違いで今後3年間のうちに特許権を申請できる権利を得たのであると商工会の会議の中で訂正されました。町長が常づね言っている「食と観光」植物性乳酸菌とスローフードでもあるすんきを多くに売り出すそうとしていることは賛同いたしますが、特許出願には多額の費用がかかると思うが研究費用と合わせてどれくらいの金額が予想されるか？

町長 その点については私の思い違いもありお詫びして訂正します。研究費用については研究が終わっていないのでかからないと思います。その後は申請に必要な弁理士の費用くらいではないかと思えます。

企画調整課長 申請費用として弁理士等への支払いが約20万〜30万円、それと維持費用として年間20万円がかかります。町としてのメリットは他の地域でスタータを利用しているの商品開発を防げるし、木曾ブランドとしての品質が一定のすんきが大量生産できる点があげられる。



Q 小中学校での

A 薬物乱用防止教育の実施状況は大半でおこなっているが、内容を協議し今まで以上にこなう



浦沢 昌徳 議員

問 薬物乱用防止教育の必要性の認識は。

教育長 小さいころからの正しい教育は必要で、興味本位から大変な事態にならないよう校長を通じて徹底する。

問 教育の内容は①麻薬・覚せい剤の体への害②薬物とゲートウェイ薬物の違い③市販の医薬品の正しい使い方等、区別して考えるべきと思うが。

教育次長 小学校ではタバコを中心に高学年ではシンナー薬物の害などを、中学校では誘われた時の断り方など、より実践的におこな

問 知識が歯止めにならないという問題もある。生涯教育という意味で保護者、地域住民への啓発も必要では。

教育次長 PTAに対しては学級懇談会、保健だより等で啓発をおこなっている。

住民環境課長 保健所を中心に薬物乱用防止指導員、保護司会などによる公演や啓発をおこなっている。

問 平成18年度の小中学生の薬物に対する意識調査によると、小学生で3〜4%中学生の5〜10%の男子が薬物をやるかどうかは個人の自由と答えているのが実態である。当町での把握も必要では。

教育長 そのような方向で検討したい。

請願

「汚染米」事件の全容解明と外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める請願
審査結果 採択

陳情

介護保険制度の抜本的改善を求める陳情書並びに社会保険料に人头割はふさわしくない介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情書
審査結果 願意採択

介護労働者の処遇改善を求める陳情書
審査結果 採択

共済法制定を求める陳情書
審査結果 継続審査

社会保険料に人头割はふさわしくない所得割重視の国保税（料）を求める陳情
審査結果 継続審査